



## 平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年8月1日

上場会社名 大正製薬ホールディングス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4581 URL <http://www.taisho-holdings.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 上原 明  
 問合せ先責任者 (役職名) コーポレートコミュニケーション部長 (氏名) 柴田 卓 (TEL) 03-3985-2020  
 四半期報告書提出予定日 平成28年8月9日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	69,431	0.3	9,106	74.0	10,422	39.1	6,945	48.2
28年3月期第1四半期	69,212	1.2	5,234	△39.2	7,493	△30.4	4,686	△29.6

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 3,455百万円 (△47.7%) 28年3月期第1四半期 6,610百万円 (△37.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	86.92	86.86
28年3月期第1四半期	57.81	57.78

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第1四半期	751,353	642,439	83.6
28年3月期	759,049	643,127	82.9

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 627,896百万円 28年3月期 628,892百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	50.00	—	50.00	100.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	50.00	—	60.00	110.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成29年3月期の連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	140,000	△4.1	13,000	△6.6	15,500	△12.3	10,000	△11.4	125.15
通期	285,000	△1.8	29,500	2.2	36,500	△0.7	24,000	6.8	300.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(注) 詳細は、添付資料P. 5「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（1）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期1Q	90,139,653株	28年3月期	90,139,653株
② 期末自己株式数	29年3月期1Q	10,230,508株	28年3月期	10,230,040株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期1Q	79,909,749株	28年3月期1Q	81,061,349株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	5
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
(2) 追加情報	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期のOTC医薬品市場は、外用消炎鎮痛剤、解熱鎮痛剤など前年を上回るカテゴリーがあった一方で、ドリンク剤、胃腸薬、便秘薬などのカテゴリーの不振もあり、総体的には低調に推移しました。

医薬事業につきましては、新薬の創出が困難になりつつあるなかで、医療費適正化諸施策の浸透に加え、本年4月に実施された薬価改定の影響もあり、依然として厳しい事業環境が続いております。

こうした事業環境の中で、当社グループのセルフメディケーション事業部門は、多様化する生活者のニーズに対応すべく、製品開発面では生活者の健康意識の高まりや変化に対応した新しい領域・新しいコンセプトの商品開発に積極的に取り組んでいます。また、販売面ではマーケティングと営業活動の連動性を高め、需要を創造する活動を強化するとともに、通信販売等の新しいチャネルの拡充による生活者との直接のコミュニケーションにも注力しています。海外市場におきましては、アジアを中心にOTC医薬品の事業開発を積極的に行っております。

医薬事業部門でも、きめ細かい情報提供活動による新薬の売上最大化を図るとともに、自社オリジナル開発物質の継続的な創出と開発段階の化合物の早期承認取得を目指しております。また、国内外の企業からの有望候補物質の導入を積極的に進め、開発パイプラインの強化にも努めております。

当第1四半期連結累計期間のグループ全体売上高は、694億3千1百万円（前年同四半期比＋2億1千9百万円、0.3%増－以下括弧内文言「前年同四半期比」省略）となりました。

セグメント別の売上高は次のとおりであります。

セルフメディケーション事業	430億円（△ 6億円 1.4%減）
内訳	
国内	356億円（＋ 4億円 1.2%増）
海外	68 〃（△ 9 〃 11.5%減）
その他	6 〃（△ 1 〃 15.8%減）
<hr/>	
医薬事業	264億円（＋ 8億円 3.2%増）
内訳	
医療用医薬品	246億円（△ 4億円 1.6%減）
その他	19 〃（＋ 12 〃 188.7%増）
<hr/>	

主要製品の売り上げ状況は次のとおりであります。

#### <セルフメディケーション事業>

当第1四半期連結累計期間売上高は、430億円（△6億円、1.4%減）となりました。

主力ブランドでは、ドリンク剤の「リポビタンシリーズ」は、主力の「リポビタンD」がほぼ横ばい（0.5%減）で推移し、シリーズ全体では156億円（1.8%減）となりました。「パブロンシリーズ」は、主力の総合かぜ薬や鼻炎治療剤がともに前年比プラスとなり、シリーズ全体では43億円（4.7%増）となりました。発毛剤「リアップシリーズ」は、堅調に推移し、シリーズ全体で38億円（3.3%増）となりました。

一方、アジアを中心に展開中の海外O T C医薬品事業は、42億円（14.1%減）となりました。

#### <医薬事業>

当第1四半期連結累計期間売上高は、264億円（+8億円、3.2%増）となりました。

主な増収品目は、骨粗鬆症治療剤「エディロール」58億円（31.3%増）、骨粗鬆症治療剤「ボンビバ」17億円（54.9%増）でした。一方、β-ラクタマーゼ阻害剤配合ペニシリン系抗菌薬「ゾシン」は42億円（35.3%減）、マクロライド系抗菌薬「クラリス」は22億円（10.4%減）、末梢循環改善薬「パルクス」は15億円（5.8%減）と、後発医薬品の影響等もあり前年比マイナスとなりました。なお、2型糖尿病治療薬「ルセフィ」は5億円（4.1%減）、本年1月発売の経皮吸収型鎮痛消炎剤「ロコア」は3億円となりました。

利益面につきましては、販売促進費、広告宣伝費、研究開発費の減少で販売費及び一般管理費が減少したことなどにより、営業利益は91億6百万円（74.0%増）、経常利益は104億2千2百万円（39.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は69億4千5百万円（48.2%増）となりました。

#### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ77億円減少し、7,514億円となりました。現金及び預金が31億円増加しましたが、有価証券が51億円、受取手形及び売掛金が35億円それぞれ減少しました。

負債は、前連結会計年度末に比べ70億円減少し、1,089億円となりました。未払費用が41億円増加しましたが、支払手形及び買掛金が35億円、未払金が27億円、未払法人税等が22億円それぞれ減少しました。

純資産は、前連結会計年度末に比べ7億円減少し、6,424億円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益69億円が主な増加要因であり、剰余金の配当40億円、その他有価証券評価差額金23億円、為替換算調整勘定18億円が主な減少要因でした。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年5月16日に公表しました平成29年3月期第2四半期（累計）連結業績予想を以下のとおり修正いたします。なお、通期の連結業績予想につきましては、平成28年5月16日に公表した予想値を据え置いております。

ー利益面

営業利益の予想を130億円（従来予想比20億円増）、経常利益の予想を155億円（従来予想比15億円増）、親会社株主に帰属する四半期純利益の予想を100億円（従来予想比10億円増）に修正致します。研究開発費等の販売費及び一般管理費において、一部費用の計上が第3四半期以降に変更となったこと等により、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益が前回公表予想を上回る見込みであります。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### (1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

#### 会計方針の変更

（平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用）

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を当第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

これによる当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響は軽微であります。

### (2) 追加情報

（繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	172,142	175,290
受取手形及び売掛金	75,243	71,703
有価証券	34,316	29,230
商品及び製品	16,425	17,110
仕掛品	2,042	1,650
原材料及び貯蔵品	8,171	7,951
繰延税金資産	6,128	6,411
その他	5,287	7,543
貸倒引当金	△86	△98
流動資産合計	319,670	316,793
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	45,979	45,499
機械装置及び運搬具(純額)	7,211	6,761
土地	37,473	37,468
建設仮勘定	4,627	6,063
その他(純額)	3,657	3,455
有形固定資産合計	98,950	99,247
無形固定資産		
のれん	19,046	18,577
販売権	4,675	4,360
商標権	12,175	11,694
ソフトウェア	2,419	2,512
その他	547	546
無形固定資産合計	38,863	37,692
投資その他の資産		
投資有価証券	237,213	233,691
関係会社株式	54,590	54,031
長期前払費用	646	651
退職給付に係る資産	568	625
繰延税金資産	7,869	7,939
その他	929	933
貸倒引当金	△253	△253
投資その他の資産合計	301,565	297,619
固定資産合計	439,379	434,560
資産合計	759,049	751,353

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	27,082	23,595
未払金	16,753	14,021
未払法人税等	5,746	3,535
未払費用	10,820	14,966
返品調整引当金	711	700
賞与引当金	3,855	2,002
その他	1,675	2,004
流動負債合計	66,646	60,827
固定負債		
役員退職慰労引当金	1,197	985
退職給付に係る負債	23,713	23,763
繰延税金負債	16,333	15,425
その他	8,031	7,910
固定負債合計	49,275	48,086
負債合計	115,922	108,913
純資産の部		
株主資本		
資本金	30,000	30,000
資本剰余金	15,271	15,271
利益剰余金	623,255	626,202
自己株式	△67,664	△67,672
株主資本合計	600,862	603,801
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	35,736	33,442
繰延ヘッジ損益	△0	△2
為替換算調整勘定	507	△1,305
退職給付に係る調整累計額	△8,213	△8,039
その他の包括利益累計額合計	28,029	24,094
新株予約権	357	349
非支配株主持分	13,878	14,193
純資産合計	643,127	642,439
負債純資産合計	759,049	751,353

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	69,212	69,431
売上原価	26,695	25,032
売上総利益	42,516	44,398
返品調整引当金戻入額	518	691
返品調整引当金繰入額	570	681
差引売上総利益	42,464	44,409
販売費及び一般管理費	37,229	35,302
営業利益	5,234	9,106
営業外収益		
受取利息	1,344	1,352
受取配当金	693	815
その他	305	178
営業外収益合計	2,343	2,346
営業外費用		
支払利息	0	0
持分法による投資損失	47	222
為替差損	—	776
支払手数料	19	18
その他	16	14
営業外費用合計	84	1,031
経常利益	7,493	10,422
特別利益		
固定資産売却益	1	10
特別利益合計	1	10
特別損失		
固定資産処分損	94	92
特別損失合計	94	92
税金等調整前四半期純利益	7,401	10,339
法人税等	2,354	2,846
四半期純利益	5,047	7,492
非支配株主に帰属する四半期純利益	361	547
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,686	6,945

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)
四半期純利益	5,047	7,492
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,959	△2,149
為替換算調整勘定	△1,729	△1,859
退職給付に係る調整額	84	175
持分法適用会社に対する持分相当額	249	△204
その他の包括利益合計	1,563	△4,037
四半期包括利益	6,610	3,455
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,224	3,010
非支配株主に係る四半期包括利益	386	444

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計
	セルフメディケーション事業	医薬事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	43,602	25,609	69,212	—	69,212
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	43,602	25,609	69,212	—	69,212
セグメント利益(注2)	6,067	△537	5,529	△295	5,234

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに帰属しない当社(純粋持株会社)であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第1四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益はありません。

## II 当第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計
	セルフメディケーション事業	医薬事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	43,012	26,418	69,431	—	69,431
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	43,012	26,418	69,431	—	69,431
セグメント利益(注2)	7,022	2,496	9,519	△412	9,106

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに帰属しない当社(純粋持株会社)であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第1四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益はありません。